
Japan Region



Volume 16

No. 2

January 1998

「未来を展く」

“Create the Future”

目 次

Table of Contents

Vol. 16, No. 2, January 1998

日本リージョン会長新春メッセージ	Message from Japan Region President	1
ディビジョンIV副会長新春メッセージ	Message from Division IV Vice President	3
常任・特別委員会委員長メッセージ	Messages from Committee Chairs	5
第16回 I T C 日本リージョン年次大会案内	Guide for Japan Region 16th Annual Conference	7
大会準備委員長挨拶	Message from Annual Conference Coordinator	7
大会プログラム予定	Conference Program Plan	8
教育セッション一覧表	Training Session Program	9
教育セッション申込み券	Training Session Ticket	11
大会登録及び食事申込書	Registration & Meal Reservation Form	12
ホテル宿泊申込書	Hotel Reservation Form	13
観光と交通案内	Sightseeing & Traffic in Osaka	14
大会前日のCMT・PEPの案内	Guide of CMT, PEP	15
大会準備委員会名簿	Annual Conference Committee	16
I T C 世界大会準備委員会構成図	1999 ITC World Convention Committee	17
コンピューター活用状況報告	Report—Use of Personal Computer by Members	18
I T C 2000年委員会	ITC 2000 Committee	19
「エクセレンスへの道」	“The Road to Excellence”	20
I T C ひ・ろ・ば	ITC Square	21

日本リージョン会長新春メッセージ



Message from Japan Region President

日本リージョン会長 三宮 晶子

新春を寿ぎ謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

会員の皆様には、心も新たに希望にみちた新しい年をお迎えになりました事とお慶び申し上げます。ITC活動も早、期半ばが過ぎようとしています。残す半期が実り多く、充実した日々でありますようお願いいたします。

ITCは今年、60周年ダイヤモンドのお祝いの年を迎えます。同時に、長年続いた構造上の変革の年ともなります。日本リージョンにとって、ITCの変革の波はどのような影響を及ぼすのでしょうか。昨年の組織の変革についての選択肢について、各クラブでは時間をかけてご検討くださり有り難うございました。約70%のクラブがそのコピーをリージョンへもお送りくださいましたが、どのクラブも迷われた上での選択であったと存じます。リージョン役員会からは意見書をお送り致しました。時代に則して変化していくITCを身近に感じたと感想を頂いたクラブもあり、ITCを地球規模の視野で考える機会となりました事と存じます。

コンピューターシステム化については、漸く入力作業も進み、1月中には事務局に設置の手筈でおります。ネットワーク作りのため、会員の調査をいたしましたところ、随分多くの会員がコンピューター電子メールを活用しておられる事がわかりました。

1999年の世界大会にむけて、準備委員会の活動も始まっております。今年は16期リージョンの運営とホステスリージョンとしての支援協力と色々なことが重なっておりますが、会員皆様のご理解をよろしくお願い申し上げます。コーヒ一杯運動も継続いたします。コーヒカップが皆様のご寄付で一杯になりますように。

日本リージョン大会の登録、ワークショップなどの申込みの記事が会報に掲載される時期がまいりました。今年はITC国際会長のメアリー・ムアハウスさんが公式訪問者として来日されます。プログラムに初めての試みですが、外部講師によるフォーラムを企画いたしました。クラブ、カウンスルを越えて日本リージョンのメンバーが顔を合せることのできる唯一の機会でございます。皆様のご出席を心よりお待ち申し上げます。

今年一年が会員の皆様にとって、成功の年となりますように。

New Year Greetings from Region President

Akiko Sangu

I would like to celebrate the New Year by sending greetings.

My wish is that every member be able to start the new year full of hope. Half of this term has already passed, and I hope that the remaining half year will be abundant and satisfying.

This year ITC will celebrate its 60th year, its diamond anniversary. At the same time, it is also a year of change to a structure which has lasted many years. This year is sure to be remembered in history. For Japan Region 1998 will also be an important year, as we wonder what kind of influence the wave of ITC change will have on us.

Thank you to all the Clubs for taking time last year to examine the option choices of the organization. About 70% of Clubs sent a copy of their choices to Region. The Region Board also submitted an opinion document. Some Clubs feel very close to ITC, as it changes through the ages—it was also a good opportunity to think about ITC on a world-wide scale.

As for the computer system, the input work is almost complete, and it will be installed in the office in January. When investigation was done for the purpose of networking, it was found that many members are making use of E-mail.

The activities of the preparation committee for the 1999 ITC World Convention have begun. We ask the cooperation of members, as matters relating to the management of the 16th term of Region pile up together with those relating to the duties of a host region. We will continue with the "One Cup of Coffee" fund raising, so that a coffee cup may be filled with everyone's contribution.

The time has come for Region Conference registration and workshop information to be inserted into the magazine. This year, ITC President Mary Moorehouse will visit as the ITC Official Visitor. As a first trial entry in the program, a forum by an outside instructor has been arranged. Conference is the only opportunity for the members of Japan Region to meet together, from all Clubs and Councils.

I hope this year will be a year of success for all members.

ITCディビジョンIV副会長メッセージ

Message from ITC Division IV Vice President



Communication Between Cultures

Margaret Probert A.C.

Try to imagine a single day in your life without having access to the guidelines your culture provides. Our culture begins at birth, it influences us from the very day we are born, it is not innate it is learned, people learn to think, feel, believe and strive for what their culture considers proper.

Communication and culture are alike, culture is a dynamic system that changes continuously over time, communication is also a dynamic, constantly changing process. Culture is the foundation of communication and when cultures vary so do communication practices. We are not born to be communicators “either”, we learn to communicate.

ITC gives us the incentive to focus on those aspects of culture that one must understand in order to communicate successfully with people from different backgrounds. Don't we do this so well in our international training organization? Our members throughout the world are all travelling the same road to excellence.

To serve on the International Board of Directors is such a privilege, to meet at our headquarters with board members from various cultures, communicating harmoniously, towards a common goal “through better communication to achieve greater understanding throughout the world”.

ITC can and does help to make the world a better place as we practice communication between cultures. 1998 will be an interesting year as we choose from our options whether to change our structure. Whatever is decided, together as communicators we'll make it work effectively. June 25, 1938 the ITC articles of incorporation were filed, so this year we celebrate 60 years—our “Diamond Year”.

1998 will be an exciting year for Japan Region as your members prepare to host the International Convention in Kobe in 1999. What a memorable event that will be when we come together in peace and love and enjoy the wonderful experience of “Communication Between Cultures”.

Greetings and best wishes to you all, may 1998 bring much good to your door.

文化と文化のコミュニケーション

ディビジョンIV副会長 マーガレット・プロバート

今まで自分が育ってきた社会の文化が示してくれる指針のようなものを無視して、たとえ一日でも生活することを想像してみてください。私達には生まれた時から文化があり、生まれたその日からその影響を受けます。生来的なものでなく、それぞれの文化により培われてきたものを私達は考え、感じ取り、努力して身につけていくのです。

コミュニケーションと文化は似ています。文化は時を経て絶えず変化していく動的なものですし、コミュニケーションもまたしかりです。文化はコミュニケーションの基盤であり、文化が変わればコミュニケーションの方法も変わります。それに私達は生まれつきのコミュニケーターではありません。それを学んでいくのです。

I T Cは、異なった背景を持つ人々と上手くコミュニケーションをはかるために私達が理解しなければならない彼らの文化の様相に焦点をあてる動機づけをしてくれます。私達のこの国際的訓練機関ではその点がうまくいっているのではないのでしょうか？ 私達、世界中のメンバーは皆、エクセレンスへの同じ道を旅しているのです。

国際役員会のメンバーになるということは、私達の本部でいろいろな文化圏からの役員の方々と出会い、上手くコミュニケーションをはかり、“よりすぐれた意思の伝達を通じて、世界中の相互理解促進”という共通の目標に向かうという特権をも与えられます。

I T Cは文化と文化のコミュニケーションを実践して世界をより良くするお手伝いをする事ができるし、おこなってもあります。1998年は私達の構造変革へのオプションを選択することになるので、特別な意味を持つ年となるでしょう。どのように決まろうと、よくコミュニケーションをはかって効果をあげたいと思っています。1938年6月25日、I T Cの法人成立の定款がファイルされました。ですから今年度は60周年—“ダイヤモンド年”を祝うこととなります。

1999年の神戸での世界大会を主催される準備のため、1998年は日本リージョンにとってエキサイティングな年となることでしょう。私達が愛と平和の中に集い、“文化と文化のコミュニケーション”というすばらしい体験をすることが出来るとは、なんて記念すべき行事なのでしょう。

1998年がすべての皆様方にとり良き年でありますように願っております。

常任・特別委員会委員長メッセージ

Messages from Committee Chairs

プログラム・教育委員会

新風を吹き込んで

第一副会長・委員長 泉 和子

リリアン・モートン I T C 直前会長は昨年のコミュニケーターに、「私がクリスマスシーズンの伝統をととても大切にしているように、I T C でも伝統を大切にせずぎてはいませんか？ それはいつもこんな風にしてきたという伝統です」と書いておられました。丁度私がリージョンのプログラムを担当することになるであろう時期でしたので、「そうだ、なくてはならぬ伝統はそのままに、他に何か新しい風でもふかせてみよう」とあの記事を読んだ時からこのことをプログラムに生かすことを考えてきました。

今期のリージョンは、引き続き適切な変革を求めて、出来る限り効率良く運営を図っております。ここで大会プログラムも 現状を踏まえながらもいつものようではなく、かなり規模の大きいフォーラムを2日目に企画してみました。これがちょっとした新風！ しかし I T C の基本理念である会員によるワークショップこそ大切にと考えて、1日目のワークショップは出来る限り多くの会員の手に依るよう考案いたしました。全てのニーズに合う計画は大変難しいものでありますが、なるべく幅広く準備したつもりです。参加者全員がこの大会のプログラム・教育から何かを得て下さり、それらが皆様方の心の糧となりますようにと願っております。

指名委員会

委員長 江 藤 万里子

指名委員会からの日本リージョン役員候補者と指名委員候補者の推薦依頼書を、クラブ会長宛に第2回リージョンメールで11月に送付いたしましたので、候補者資格のある会員が在籍されるクラブでは真剣にご検討くださっている事と思えます。

日本リージョンは1999年 I T C 世界大会日本開催を控え、その記念すべき初行事にむかって準備されつつあります。その来るべき意義深い年度の直前役員組織として、有能な、特に熱意のある会員をご推薦下さる事を願っています。

今期のリージョン大会は、1998年6月4日、5日に大阪に於いて開催されます。指名書は会則に基づき、この大会で行われる次期役員、指名委員の選挙の90日前、即ち 3月6日迄に指名委員にご提出下さい。

候補者の資格は、リージョン会則第5条B項に、指名委員会については同C項に記載されています。各クラブから多数の候補者が推薦されることを期待して、お待ちしております。

コンピューターシステム化委員会

委員長 田 中 裕 子

お待たせしました。1998年1月23日に日本リージョン事務局にコンピューターを導入します。会則、名簿、資料などをコンピューターで管理します。

事務局の方はNTTのOCNに申し込んでいます。アドレスが決まり次第お知らせいたします。また会員のEメール・アドレス名簿、メール通信網も同時にお知らせいたします。引き続き、ホームページの作製、会計処理のコンピューター化をすすめます。導入時しばらくは、いろいろと不手際などあるかもしれませんが、どうぞよろしくご協力下さいますようお願いいたします。

コンピューター委員追加任命——川崎瑤子（錦）、アン・イソット（阪神）、南部紀代美（阪神）

特別委員会の任命について

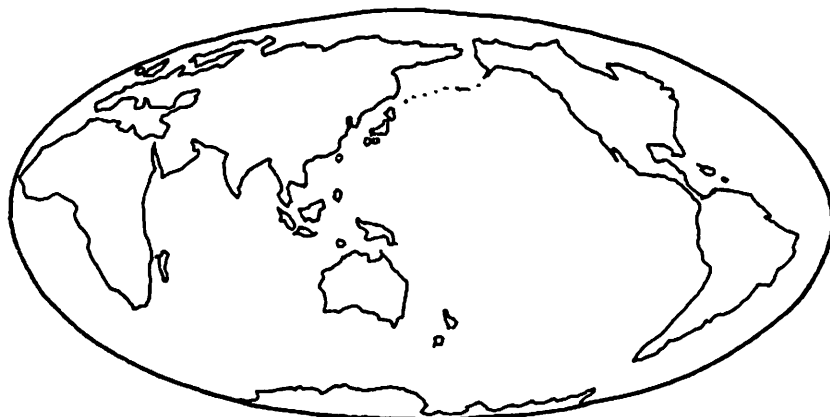
リージョン会長 三 宮 晶 子

今期リージョンの短期目標の一つに「事務局管理体制の整備」があります。その研究のため特別委員会を任命いたしました。

名称：事務局体制研究特別委員会

目的：リージョン事務局の機構や経理全般について研究し、会則修正をも含めて検討する。

委員： 委員長 須知繁子（名古屋クラブ）
委員 鶴飼恵津子（名古屋クラブ）
委員 盛田純子（名古屋クラブ）



第16回日本リージョン年次大会—大阪

Guide for Japan Region 16th Annual Conference

大会テーマ：「可能性を求めて」

開催日：1998年6月4日（木）・5日（金）

場所：リーガロイヤルホテル・大阪（旧称：ロイヤルホテル）



大会準備委員長 加藤 啓子

第16回大会の準備委員会を5カウンスル27クラブ110余名で組織し、昨年11月に第1回の会合を開きました。以来、6月4日の大会開催日に向けて各委員会が年次大会をスムーズに、そしてご出席の会員の皆さまが大会を楽しんで頂けるように準備を始めております。

大阪は関西経済の中心地であり、数多くの新旧文化が独特の存在を主張している魅力ある都市です。リージョン年次大会は毎年開催されますが、6年ぶりの大阪での大会に皆さまがITCに新しい魅力を、そして可能性を見つけて下さる場にしたいと一同、努力しておりますのでどうぞ、お一人でも多くの会員の方々のご参加をお願い申し上げます。心からお待ちしております。

登録、食事、宿泊の申込書を、又、観光・交通のご案内も合わせてこの号に掲載いたしました。準備委員会へのご意見、ご要望などございましたら、準備委員長へお寄せ下さいませ。

（Fax. 0797-72-8103 又はEメール Sabbyfam@blue.plala.or.jp）

「表彰」についてのお知らせ

第二副会長 後藤 侗 奈

毎年リージョン大会で行われますリージョンからの表彰について、今期は以下の方々を対象とさせていただきます。

- ・今期中に20年継続会員になられた方
- ・今期まで30年以上の継続会員の方
- ・1998年5月20日までにフルメンバーになったクラブ

表彰式はリージョン大会の第一日目、6月4日の晚餐会の席上にて行います。

該当される方は、1998年4月末までにクラブ第二副会長まで必ずお申し出下さい。また、ぜひ晚餐会にご出席下さいますようお願い申し上げます。

第16回日本リージョン大会プログラム予定表

Japan Region 16th Annual Conference Program Plan

6月3日 (水) June 3 (Wed.) リーガロイヤルホテル Rihga Royal Hotel

11:00～11:30	受付	Registration
11:30～12:30	昼食	Lunch
12:30～15:30	カウンスル運営研修会	Council Management Training
16:00～18:00	成果向上の為のプログラム	Performance Enhancement Program

6月4日 (木) June 4 (Thurs.)

8:30～9:45	登録受付	Registration
9:00～9:45	派遣員への説明	Briefing for Delegates
10:00	入場 開会式	Opening Ceremony
10:43	ビジネス ITCインフォメーション	Business & News from ITC
12:10～13:00	昼食 選挙 (派遣員)	Lunch & Election (Delegates)
13:00～14:50	スピーチコンテスト (英語)	Speech Contest (English)
14:50	選挙結果発表	Election Report
15:10～16:40	教育セッション (5部門)	Training Sessions (5 parts)
17:30～18:00	晩餐会受付	Banquet Registration
18:00	晩餐会開会	Opening
18:20～18:40	役員就任式	Installation
18:40～21:00	晩餐・表彰・余興	Banquet, Awards & Entertainment
21:00	閉会	Adjournment

6月5日 (金) June 5 (Fri.)

8:30～9:00	登録受付	Registration
9:00～10:00	開会 ビジネス	Opening & Business
10:10～12:10	教育セッション (フォーラム)	Training Session (Forum)
12:20～13:20	昼食	Lunch
13:30～15:30	スピーチコンテスト (日本語)	Speech Contest (Japanese)
15:30～16:00	報告	Reports
16:00	閉会	Adjournment
16:30～18:30	リージョン運営研修会	Region Management Training

時間・内容の変更が生じる場合もあります。

変更のある時は会報第3号でお知らせします。ご了承ください。

Training Session

June 4 (Thurs.) 15:10–16:40

A	Forum	<p>“Considering an Attractive ITC for the Future”</p> <p>Moderator: Kyoko Takayanagi (Nagoya)</p> <p>Panelists: Mary H. Moorehouse (Off. Visitor) Hiroko Ishikawa (Nagoya) Saeko Shimamoto (Meijo) Sachiko Morikawa (Kariya)</p>	<p>A big wave of change is sweeping over ITC, just as the “Big Bang” is taking place in the financial world of Japan, and consideration of the problems is necessary. This forum is planned to present constructive opinions, and to consider the better development of ITC, looking towards the future.</p>
B	Workshop	<p>“Speech Workshop” (Participants limited to 100)</p> <p>Leader: Riho Mitaji, Director</p>	<p>Participants will personally experience every detail of the workshop, through speech training in all aspects. Pitch in and enjoy the assignments! Don’t miss the chance to join in this workshop.</p>
C	Lecture	<p>“Various Topics on French-Cooking”</p> <p>Lecturer: Harubi Yonezu, Directeur des Cuisines, Rihga Royal Hotel</p>	<p>You will appreciate the transition of time-honored French-Cooking, learn the origins of names of dishes, gain a good knowledge of food materials, and hear episodes and stories of hardships in making menus. The lecturer has published a book on “Hotel Cooking”, which can be applied to home-cooking, and which is said to represent the culture of the country.</p>
D	Workshop	<p>“What Sort of Person am I?” —by use of a character test—</p> <p>Leader: Nobuko Iwase (Rokko)</p>	<p>It’s more difficult to know yourself than you may think. Knowing yourself can help you overcome heartache and suffering. Will curiosity overcome fear? Will you take up the challenge? You may find the key to your character.</p>
E	Workshop	<p>“Communication in Short Sentences”</p> <p>Leader: Fumiko Kawashima (Matsue)</p>	<p>The rhythm of <i>haiku</i> suits the Japanese. Let’s amuse ourselves, learning the essence of Japanese poetry, such as <i>Renka</i>, <i>Tanka</i>, <i>Haiku</i>, <i>Kyoka</i> and <i>Senryu</i>. You’ll enjoy communicating elegantly in short sentences, with syllables of 5, 7 and 5.</p>

June 5 (Fri.) 10:10–12:10

Forum	<p>“In Search of Possibilities” —Cities and Culture— (Probable Title)</p> <p>Moderator: Yutaka Mino, Director, Osaka Municipal Museum of Art</p> <p>Panelists: Hisayasu Nakagawa, Director- General, Kyoto National Museum Shigefumi Tsuji, Professor Emeri- tus, Osaka University</p>	<p>It is culture that influences our sensibility. This is a good opportunity, among the many chaotic daily matters which surround us, to think about how culture and cities should coexist, specifying what aspects of culture we should take into our lives, and searching for possibilities for its development in addition, we will consider the differences between foreign culture and Japanese culture. We have invited three eminent scholars for this large forum and it is hoped that all of you will take part.</p>
-------	--	---

教育セッション一覧表

6月4日(木) 15:10～16:40

A	フォーラム	<p>「魅力ある将来の ITCを考える」</p> <p>モデレーター： 高柳 恭子(名古屋)</p> <p>パネリスト： メアリー・ムアハウス (ITC公式訪問者)</p> <p>石川 浩子(名古屋) 島本 佐江子(名城) 森川 佐智子(刈谷)</p>	<p>世の中に「ビッグバン」が起こるように、ITCにも色々な変革が起こり、問題・課題が押し寄せます。それらを各々の視点から捉えてみて、率直な意見を出し合い、その意見が有効に反映し、私たちのITCがよりよく将来に向けて発展するよう考える、ITC公式訪問者を交えてのフォーラムを開きます。ご一緒にご参加下さい。</p>
B	ワークショップ	<p>「スピーチ ワークショップ」 (100名限定)</p> <p>三田地 里穂 演出家</p>	<p>参加者全員があらゆる場面でスピーチの訓練を通して、きめこまかなスピーチワークショップを実際に体験することが出来ます。前もって与えられる課題に楽しみながら取り組みましょう。そして演出家ならではのリーダーによるこのワークショップには是非ご参加下さい。</p>
C	講演	<p>「フランス料理 よもやま」</p> <p>米津 春日 リーガロイヤルホテル 総料理長</p>	<p>歴史あるフランス料理の移り変わりや料理のネーミングにまつわるいわれ、食材に関すること、又メニュー作りの裏話や苦労話をお楽しみ頂きます。米津氏はホテルの料理をその国の文化を表すといわれる家庭料理にも応用出来るよう、著書も出版されています。</p>
D	ワークショップ	<p>「わたしってどんな人？」 —性格テストを使って—</p> <p>岩瀬 純子(六甲)</p>	<p>自分のことって、分かっているようで分かっていないもの。自分について知ることは、心の悩みや苦しみを解決する手助けをしてくれることでしょう。怖いもの見たさ？それとも果敢なる挑戦？何かを得ることが出来るかも知れません。</p>
E	ワークショップ	<p>「短い言葉(五・七・五) による コミュニケーション」</p> <p>川島 芙美子(松江)</p>	<p>五・七・五のリズムは日本人にぴったり！ 連歌、短歌、俳諧、狂歌、川柳など日本の歌の心を学んで、ちょっと遊んでみませんか。短い言葉で(五・七・五)潤いあるコミュニケーションを楽しんでみたいと思います。</p>

6月5日(金) 10:10～12:10

フォーラム	<p>「可能性を求めて」 —都市と文化— (仮題)</p> <p>モデレーター： 養 豊 大阪市立美術館館長</p> <p>パネリスト： 中川 久定 京都国立博物館館長</p> <p>辻 成史 大阪大学名誉教授</p>	<p>人の感性に影響をあたえるもの、それは文化—。今、私たちの周りを困む数々の混沌とした日常の事柄の中で、心豊かに生活の中に取り入れられていかねばならない文化を見極め、それらの発展の可能性を求めて、外国と日本の文化の相違にも触れながら、如何に文化が都市と共生していかねばならないかということを考えてみるチャンスです。今期は教育セッションに3名の外部講師をお招きして規模の大きいフォーラムを織り込みました。全員ご参加下さい。</p>
-------	---	---

時間、内容に変更が生じる場合もあります。
変更のある場合は会報第3号でお知らせいたします。ご了承下さい。

ホテル宿泊申込書

Hotel Reservation Form

カウンスルNo. ()	フリガナ	大会関係役職名
() クラブ	会員名	
部屋タイプ ()	同室代表者名	
宿泊希望日：6月 3日(水) 4日(木) 5日(金) 宿泊日を○で囲んで下さい。		

ホテル名	部屋タイプ	料金(1名分)	備考
リーガロイヤルホテル (旧称ロイヤルホテル)	シングルルーム	12,000円	1泊、朝食、税、 サービス料含む
	ダブルルーム(シングルユース)	17,000円	
	ツインルーム(シングルユース)	17,000円	
	ツインルーム(1室2名利用)	11,000円	
	トリプルルーム(1室3名利用)	10,000円	

(チェックイン12:00 チェックアウト12:00)

〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-68 Tel. 06-448-1121 (代表) Fax. 06-448-4414

【申込案内】

- (1) 宿泊申込書(点線上部)をコピーし、登録申込書とは別に4月15日までに会計に提出してください。クラブ会計は表に記入して4月22日必着で宿泊委員長までお送りください。
- (2) 5月15日以降の変更(キャンセル、追加等)は、直接ホテルに連絡してください。
- (3) キャンセルは前日までは無料、当日のキャンセルは100%です。
- (4) お支払いは、各自チェックアウト時をお願いします。

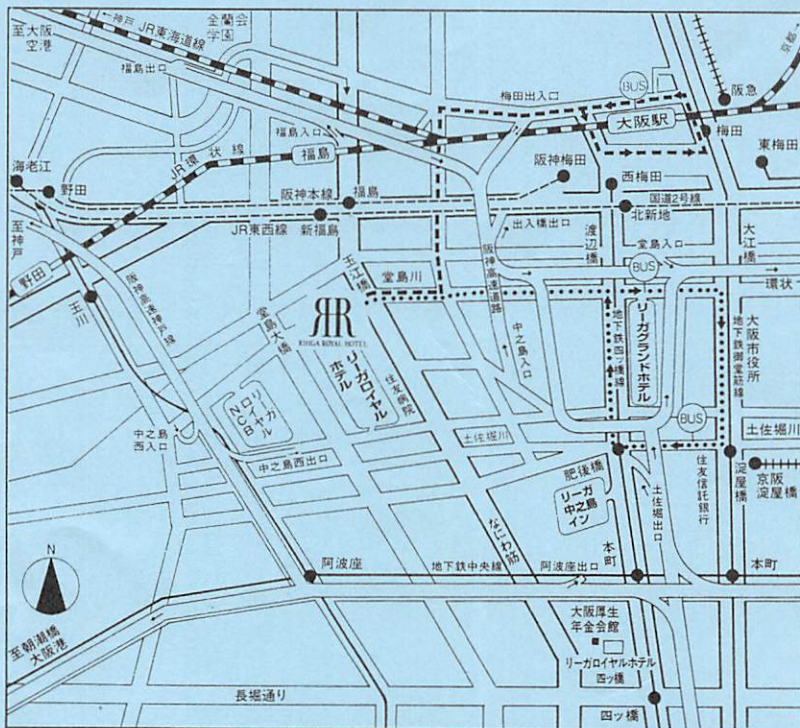
宿泊委員長 飼原 和子(六甲)

〒653-0862 神戸市長田区西山町4-16-13

Tel. 078-643-1878 Fax. 078-643-1876

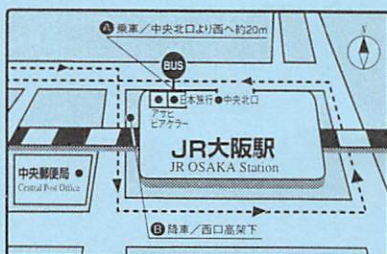
観光と交通のご案内

リーガロイヤルホテルへの交通のご案内



- J R大阪駅からシャトルバスあり（毎時0分、20分、40分発）無料
- 地下鉄淀屋橋からシャトルバスあり（毎時0分、あと15分毎）無料
- 関西国際空港よりシャトルバスあり（1日5便）1,300円
- タクシーで新大阪駅から20分、大阪空港（伊丹）から30分、大阪駅から10分
- 駐車場あり
- リーガロイヤルホテル Tel. 06-448-1121

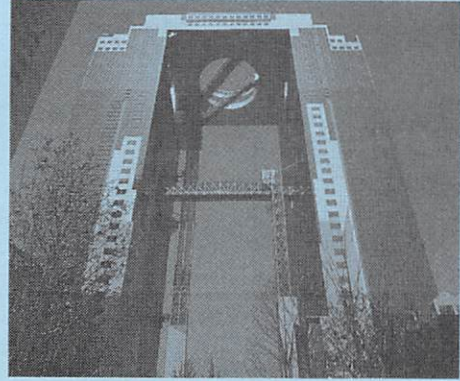
シャトルバスのりば



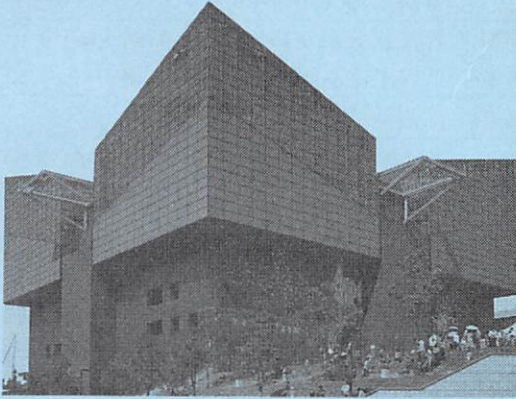
大会前日の観光（企画中）

6月3日 1:00 p.m. リーガロイヤルホテル発（観光バス）…半日コース

期間中、会場に「観光案内デスク」を設け、大阪市内及び近県の観光、芸術鑑賞、歴史旧跡の探訪、食事、買い物等のお手伝いをいたします。ぜひ楽しい思い出を作ってお帰り下さい。



空中庭園（梅田スカイビル）



海遊館

大阪湾を臨むベイエリアは、いま最も注目の場所。太平洋をテーマにした世界最大級の水族館海遊館は人気抜群の観光スポット。天保山マーケットプレイスでのショッピングも楽しみです。

（現在計画中の段階です。お楽しみに。）

観光交通委員長 清水仁美（梅田）

第16回日本リージョン大会前日のCMT・PEPのご案内

日本リージョン次期会長 須知 繁子

本年度も、大会前日のプログラムとして、カウンスル運営研修会（CMT）と Performance Enhancement Program（PEP—成果向上のためのプログラム。旧RMT）Phase I とが行われます。PEPについて、ITC本部からは、先年度から世界中のリージョンで始められたこの新しいプログラムは、非常に好評であったと伝えてきました。今回のリーダーは日本リージョンへの公式訪問者メアリー・ムアハウス国際会長です。PEPは、昨年度のようにCMTの後、引き続き行う予定です。

カウンスル運営研修会（CMT）は、従来通り12部門で行います。CMT、PEPともに、新年度の日本リージョンとカウンスルを担うリーダーの方々にとって、最も必要な研修と情報交換の機会でありますから、是非ご出席下さいますようお願い申し上げます。詳細は関係者に改めて通知し、前もって出欠をお伺いいたします。なおリージョン新役員のための研修は、リージョン大会終了後公式訪問者によって行われます。

第16回日本リージョン年次大会準備委員会

1998年6月4日(木) 5日(金)

大会コーディネーター 加藤 啓子 (甲南)

コ・コーディネーター 堀 容子 (宝塚)

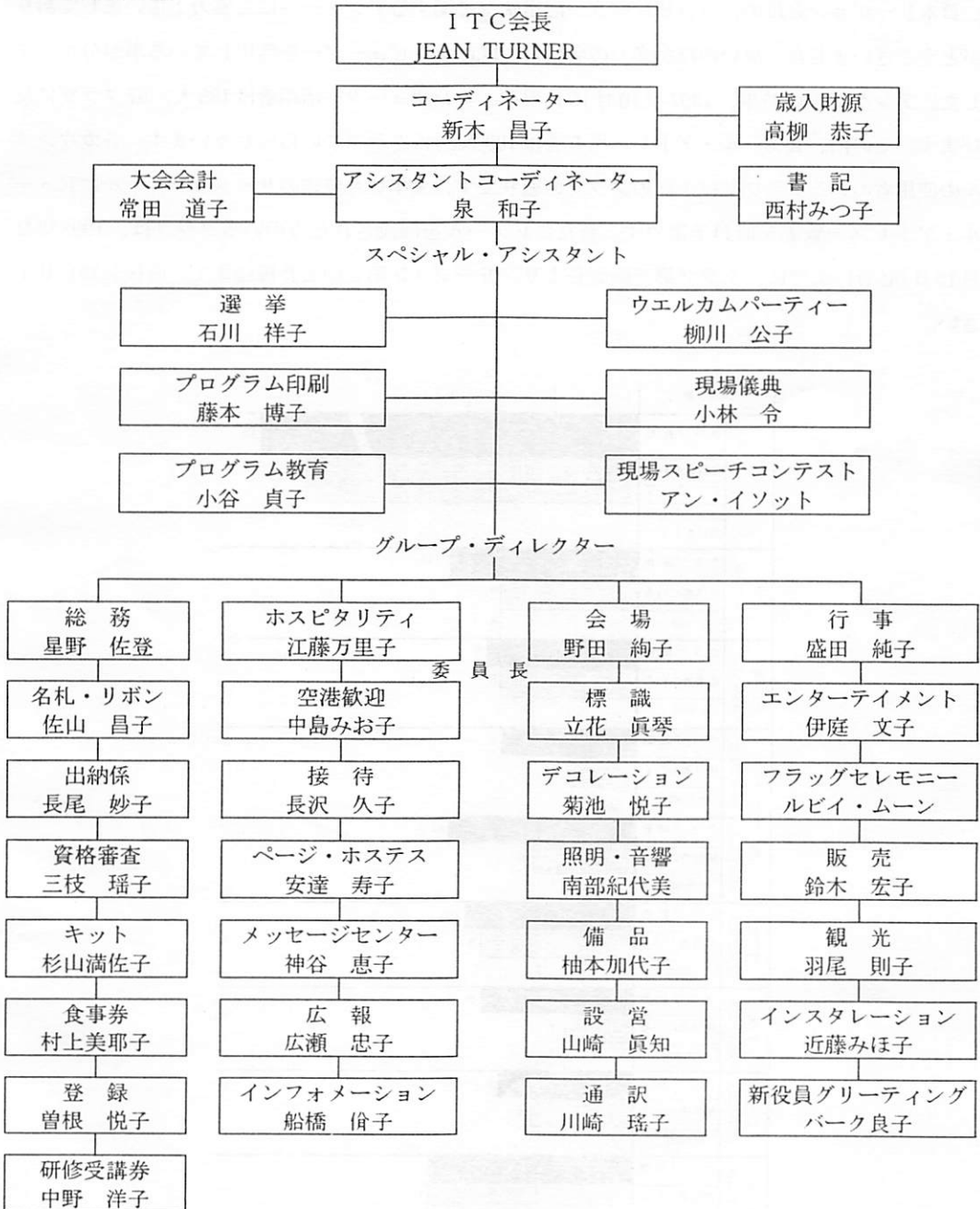
委員会	委員長 (クラブ)	委 員 (クラブ)
大会会計	石崎 和子 (E神戸)	中明博美 (E神戸)
登 録	浜口 英子 (堺東)	西村敦子 (堺東)
登録会計	遠藤美与子 (堺東)	長谷川充子 (堺東)
食 事	若林 裕子 (甲南)	酢谷道子 (甲南) 佐藤睦子 (岡山)
宿 泊	飼原 和子 (六甲)	森田里栄子 (六甲)
キット	門奈 具子 (大阪)	段紅子 大谷富子 石倉伊智 川本千枝子 実松三奈子 (大阪) 福島輝江 池田寛子 (城北) 木谷光代 (千里)
会場・備品	石本美知子 (大阪)	萩原昭子 石原かな子 (大阪) 東口光子 (南大阪) 住吉政子 久保千枝子 (城北) 田中征子 (堺東)
企画デコレーション	山本須奈見 (阪神)	小島百合子 (阪神)
儀 典	柳川 公子 (甲南)	長澤久子 (甲南) 則末美都子 (三田) 木村桂子 (舞子)
名札・リボン	山根万佐子 (宝塚)	種継真澄 春江逸子 青山敬子 (宝塚)
接 待	中野 知子 (奈良)	柏原春代 豊川三千代 (城北) 林達栄 城山博子 高橋美智 (平安) 稲田礼子 中尾光子 埜口かず子 坂本たか子 (奈良) 福島慶子 稲富奈津子 松本敬子 (北摂)
V I P接待	中馬知津子 (大阪)	藤村泰子 (大阪) 但野真理子 (阪神) 泉谷智恵 藤木桂子 藤本博子 (E神戸)
ホスピタリティー	古満 曙美 (松江)	紅花一恵 柴田雅子 郷原明子 佐藤浩子 高橋礼子 金子寛子 (松江)
インフォメーション	園田 容子 (芦屋)	橋本裕美 嵯峨悦子 (芦屋) 松尾京子 鈴江恵 (西宮)
エンターテイメント	堀 容子 (宝塚) (コ・コーディネーター兼任)	
ページ	立野知津子 (阪神)	南部紀代美 山下陽子 (阪神) 松岡友美 (甲南) 村田昭子 (六甲) 武田泰子 (御影) 小河フク子 (舞子) 田中基子 (ポート神戸) 松田照子 (南大阪)
写 真	岩田 洋子 (甲南)	上島晴美 (関西) 旭 栄 河内美音子 (阪神) 武内浩子 (甲南)
物品販売	江崎 由佳 (城北)	富田順子 (大阪) 大谷禮子 野間佳子 (都) 坂本妙子 (帝塚山) 平岡英子 (甲南)
広 報	広瀬 忠子 (阪神)	大谷千恵子 (ポート神戸) 茶谷滋子 (大阪)
観光・交通	清水 仁美 (梅田)	古沢幹子 萩和美 筆本美智子 林恵子 (梅田)
受 付	常田 道子 (京都)	井上丹規子 中川愛子 野村美智子 田中里江 田中郁子 山田千恵子 (京都) 三村敦子 長尾悦子 西原久美子 (都) 佐藤和子 (奈良) 中込寿美 高城良子 (北摂) 松村武紀子 (鴨川)

I T C世界大会準備委員会構成図



1999年大会コーディネーター 新木 昌子

1999年世界大会準備委員会は下記のメンバーで構成され、一つのチームとして1999年7月17日から21日まで神戸で開催される大会を最高のものにするため力を合せて努力します。このメンバーの他にも沢山の方々のご協力を頂きたく、日本リージョン会員の皆様方の多方面へのお力添えを心からお願いいたします。



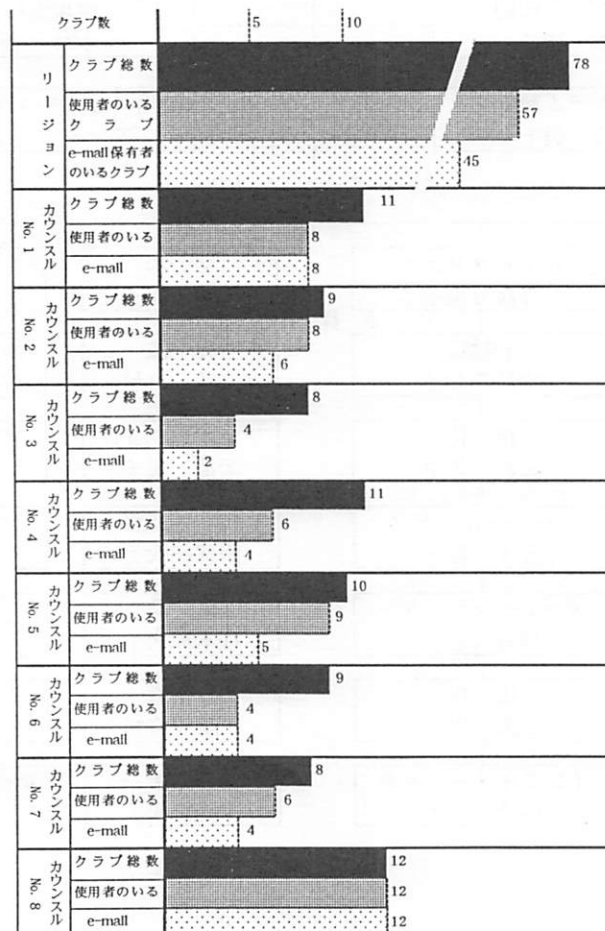
日本リージョンコンピューター活用状況報告

Report—Use of Personal Computer by Members

アンケートの結果

リージョン第二副会長 後藤 侗 奈

日本リージョン会員の、コンピューター活用状況に関するアンケートにご協力下さいましてありがとうございました。思いのほか多くの会員が、既にコンピューターを活用している事が分かりました。アンケートの結果、1997年10月15日現在、コンピューター活用者は185人、57クラブに及びます。その内、Eメール・アドレス所有者は103人、45クラブにいらっしゃいます。各カウンスルの使用者のいるクラブ数は下記のグラフの通りです。来年3月発送のリージョンメールにEメール・アドレス一覧表を同封予定です。新たにEメールを開設された方のいるクラブは、1998年2月15日(必着)までに、クラブ第二副会長より、リージョン第二副会長後藤まで、直接お知らせ下さい。



ITC 2000年委員会—日本作業部会

ITC 2000 Committee

委員長 アン・イソット

日本リージョンの多くの会員は、ITC 2000年委員会がどんな任務を担っているのか、それに対し日本リージョンがどのように貢献しているのか、また、その委員会が日本リージョンの実情をどの程度把握しているのかなど、不審に思っておられることでしょう。

ITC 2000年委員会は、1996年の世界大会においてその年第一副会長、現ジーン・ターナー次期会長を委員長として結成されました。委員は世界各地—アメリカ、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、英国、オランダ、日本よりでており、日本からは私が委員を務めております。各委員はそれぞれのリージョン会員から成る作業部会をつくり、諸問題の検討や良い発案のための助力をすることになっています。

日本作業部会のメンバーは下記の7名で4カウンスルから出ていただきました。

アン・イソット (阪神・カウンスルNo.2)	藤本博子 (イースト神戸・カウンスルNo.2)
中村祐子 (梅田・カウンスルNo.5)	置塩啓子 (イースト神戸・カウンスルNo.2)
高山敦子 (北摂・カウンスルNo.6)	田中裕子 (ポート神戸・カウンスルNo.3)
八日市屋多栄子 (神戸・カウンスルNo.2)	

1996年にITC 2000年委員会は下記の六つの課題を思索すべく与えられております。

- 1) ITCに於ける全レベルの構造—1レベルの削除の可能性をも考慮に入れて
- 2) 全レベルの役員会の構成及びその働き
- 3) 報告手順の能率化
- 4) クラブへの情報送付のスピード化
- 5) インターネット利用法
- 6) 教育資料の規格化

ITC 2000年委員会では、メンバーは二人ずつペアーを組んでそれぞれ異なった事項に取り組む一方、全課題に全体的な意見を投入しています。私はオランダからのメンバーとペアーを組み、情報の送付及びインターネットの利用法に取り組んでおりますので、昨年度は日本リージョン作業部会ではこの分野に重点を置きました。ITC本部から各クラブへ、特に北アメリカ以外のクラブへの情報送付を速やかに行うのに特別な方法でのより良い伝達を考えるのに、私達はブレイン・ストーミングのテクニックを使ったりもしました。

ITC 2000年委員会のメンバーで構造改革に取り組んでいる人達もいますが、私達日本のメンバーは私達の考えや意見を主張しております。私はリージョン会報1996/1997年度第1号に記事を書き皆様方のご意見を求めましたところ、数名の方がいろいろな考えをお寄せ下さいました。日本リージョン役員会のご意見もいただきました。

ITC 2000年委員会は、構造改革のための五つのオプションを作成し、1997年の世界大会で提示しました。その後、この構造改革のための責務は、新会則改正委員会に託されました。

ITC 2000年委員会はもう一年活動し、残務を果たすこととなります。したがって日本作業部会も作業を続けることとなります。

The Road to Excellence

エクセレンスへの道

今期ディビジョンIVマーガレット・プロバート副会長がメッセージの中（3頁）で述べておられますエクセレンスへの道とはどのような道なのでしょうか？

*Excellence is dedication to a job that's hard to do,
going the extra mile and always trying to follow through.*

*Excellence is communication, sharing everything you know,
and learning how to listen so your expertise will grow.*

*Excellence is appreciation of the talent that you see,
acknowledging a job well done inspires success and loyalty.*

*Excellence is aspiration with a higher goal in mind,
to trust in God and reach for things of a more rewarding kind.*

Jill Wolf

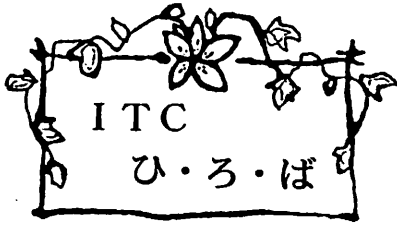
エクセレンスとは困難なことに真摯にとりくむことで、更に一步前へ進もうと考え、常に、何事も最後までやり遂げようとする事なのです。

エクセレンスとはコミュニケーションのことで、自分の知っていることを分かち合い、自分の専門技術をのばすためにいかに聞くかを学ぶのです。

エクセレンスとは才能を見いだせばそれを認め、上手くなされた仕事にはふさわしい評価をなし、成功と信頼の絆をうみだす事なのです。

エクセレンスとは心に高く目標を掲げ、神を信じ、より価値あるものを手にしようと大志を抱く事なのです。

ジル・ウルフ



リージョン常任委員会

スピーチコンテスト委員の取消 → 中村祐子(梅田)

役員の変更

カウンスル	クラブ	役職	新役員氏名	旧役員氏名
No. 4	九州	クラブ会長 クラブ第一副会長 クラブ議会議長 クラブ書記	大賀延見子 片山 一子 中村美奈子	杉本 恵子 大賀延見子 片山 一子
No. 5	南大阪	カウンスル書記	小八木利子(南大阪)	横川扶紀子
No. 5		クラブ議会議長	棚田 順子	小八木利子
No. 6	北 摂	クラブ書記	栗栖 和子	多羅 晶子
No. 8	サンデー	クラブ会計	清水 花美	樺島 祥一

会員名簿 郵便番号、電話・ファックス番号の訂正と新設

カウンスル	クラブ	氏名	誤 → 正
No. 1	ぎふ	森崎 由枝	Tel. No. 058-294-0512 → 058-295-0412
No. 2	甲南	戎 慧子	Tel. No. 078-709-5771 → 078-709-5770
No. 3	しらすぎ	竹中 扶紀	新Fax. No. 0792-53-0035
No. 3	しらすぎ	楯谷 和子	Fax. No. 078-922-2155 → 078-946-4776
No. 3	ポート神戸	川本 幸子	〒654 → 〒651-1123
No. 5	梅田	中村 祐子	Tel. No. 0798-36-9068 → 0797-32-2258
			新Fax. No. 0797-32-2358
No. 8	柏	小菅あけみ	Fax. No. 0471-46-1810 → 0471-40-1810

名簿の訂正

サンデークラブ (カウンスルNo. 8) 第2 / 4 日曜14:00～を第3 日曜13:30～に訂正。

大下文男、樺島祥一、田中明はTel. とFax. が同じ。

境クラブ (カウンスルNo. 7) 第一副会長森脇美穂子を書記森脇美穂子に

有木文代(YUUKI Fumiyo)を由木文代 (YUUKI Fumiyo)に訂正。

リージョン会報前号の訂正

6 ページの通信書記舟橋侑子を船橋侑子に訂正。

40 ページ「カウンスルNo. 5 例会とクラブ例会」中島みお子会長の電話番号を06-831-4494 と訂正。

I T Cコミュニケーターに寄稿して下さい

ジョアン・レヴィ I T Cコミュニケーター編集者は会員の皆様方からの記事を募集しています。コミュニケーター記載のための教育的記事を望んでいます。資格認証の対象となりますので、皆様ごぞつて原稿を送って下さい。

“If we don't plan today to create our future, we will end up living someone else's vision.”

《もし今日、自分の未来を展く計画をたてなければ、誰か他の人のヴィジョンを生きることになるであろう》

ダイヤモンド・メンバー・プログラム

今期、I T Cは60周年を迎えます。ダイヤモンド年なのです。それを記念して、一度去ったメンバーに戻って来てもらおうとキャンペーンを展開しています。それがダイヤモンド・メンバー・プログラムです。皆様もこのキャンペーンにご協力ください。

訃報



ご冥福をお祈り申し上げます

縫谷みち子様 (米子クラブ) 田中小夜子様 (葵クラブ)
安東美奈子様 (城北クラブ) 水野弘子様 (東山クラブ)

Dear Members こ・ん・に・ち・わ へんしゅうです。

◆役職の任務を遂行していく中で専門的な知識を身につけていくのが、I T Cの目的の一つです。その意味からは良い機会を与えていただいたと頑張っています。各部署から送られてくる原稿、編集者としての理念、その他諸々の制約の中で会報を創り上げていくのは大変ではありますがやりがいもあります。読んで何か心が残るようなものになればと願っています。(藤原栄子)

◆わいわい、がやがや、それぞれの委員が自分の意見を自由に発言しています。編集委員会の熱気が伝わってきますでしょうか。校正・レイアウトなどの作業を繰り返しながらいよいよ2号をおとどけすることができました。(立花眞琴)

◆第16期リージョン会報は表紙の色デザインは各号とも同じにし、号数を大きく表示していますので見やすいと思いますがいかがですか。皆様に読んでいただきますことが次号へのエネルギーとなります。良い会報作りをめざして楽しく編集に取り組んでおります。(落合みさ子)

◆皆さま方のエールにはげまされ一同心新たに愛される紙面作りに頑張っています。アットホームな編集室は和気あいあいです。そんな暖かな雰囲気伝わればいいのですけれど……(塩崎真喜子)

印刷：印刷工房くどう・大阪

大阪クラブ20周年記念例会

日時：1998年4月20日（月）

場所：ザ・リッツカールトンホテル大阪

会費：10,000円

会長：坂口正子（Tel・Fax 0722-21-7568）

カウンスルNo. 5 10周年記念例会

1998年1月27日（火）10:30～14:30

ホテル日航大阪

プログラム「宝塚・イン・カウンスルNo. 5」

講演 鳳 八千代（元宝塚スター）

“あなたのアイデアをお寄せ下さい”

I T C世界大会マーク募集

1999年、日本で開催されますI T C世界大会のマークを募集します。一見して、日本をイメージできる簡単な図柄をデザインして下さい。

このマークは、大会当日のキット袋やプログラムの表紙、ネームカードなど、あらゆるものに印刷されます。応募は個人でもクラブの合作でも結構です。

【応募要領】A4サイズの白紙に毛筆・ボールペンで黒で清書されたもの。単色印刷が出来るデザインであること。来年3月31日迄に〒662-0067西宮市深谷町11-9杉山満佐子(キット委員長)まで。

1999年世界大会コーディネーター 新木 昌子

総務ディレクター 星野 佐登

キット委員長 杉山満佐子

(例：最近のマークより)



ITC日本リージョン声明文

ITC日本リージョンの使命は、ITCの目的とするコミュニケーション技術、組織運営の技術を習得する機会を会員に提供し、リーダーシップをそなえた成熟した社会人を養成し社会に貢献することにある。

Mission Statement of Japan Region

The mission of ITC Japan Region is to present the members opportunities for quality training in communication and leadership skills which are the purposes of International Training in Communication and benefit the society by providing mature individuals.
